

# 株式会社フジックス環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日)



## 目次

1. 組織の概要,対象範囲	1頁
2. 実施体制	2頁
3. 環境経営方針	3頁
4. 環境経営目標	4頁
5. 環境経営計画	5頁
6. 環境経営目標の実績	6頁
7. 1環境経営計画に基づき実施した取組内容	7頁
7. 2環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7頁
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	8頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9頁
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	10頁

2024年7月26日発行

# 1. 組織の概要、対象範囲

## 1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名  
株式会社 フジックス  
代表取締役 諏訪 勝
- 2) 所在地  
本社・工場 神奈川県海老名市本郷1699番地の1  
府中営業所 東京都府中市東芝町1番地(東芝内)(人材派遣の為対象外)  
沼津営業所 静岡県沼津市東間門字上中溝515(明電舎内)  
(人材派遣の為対象外)
- 3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先  
責任者 環境管理責任者 藤森 歩 TEL 046-200-9504  
担当者 小島 真由美  
電子メール a-fujimori@fj-x.co.jp
- 4) 事業活動内容  
制御盤・配電盤等の金属焼付塗装

## 5) 事業の規模

事業年度	単位	4月～3月
		2023年度
売上高	百万円	544
従業員	人	23
延べ床面積	m <sup>2</sup>	1719.6

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲) 府中・沼津両営業所を除く全組織・全活動

- 1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4)事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

## 2. 実施体制

### 環境経営システム実施体制図



### 役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。</li> <li>・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。</li> <li>・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する。</li> <li>・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知</li> <li>・全社組織へのEA21活動実施の統括</li> <li>・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告</li> <li>・内外環境コミュニケーションへの対応</li> <li>・問題点の是正処置の統括</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐及び部門管理者の補佐</li> <li>・EA21活動に関する事務</li> </ul>
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知</li> <li>・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ</li> <li>・問題点の是正処置、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施</li> <li>・EA21活動に関する提案</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

### 〔 企業理念 〕

全従業員の「笑顔」の為、  
お客様の「笑顔」の為、  
社会の「笑顔」の為に貢献します。

### 〔 環境経営の指針 〕

当社は、企業理念を踏まえ、地球環境の保全、お客様や地域社会の信頼にこたえられる会社を目指します。安全で安心して頂ける金属焼付塗装製品を効率よく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### 〔環境経営への取組の基本的方向〕

1. 省エネ・省資源及びCO2(二酸化炭素排出量)削減に努めます。
2. 水使用量の削減に努めます。
3. 化学物質の適正使用に努めます。
4. 塗装品質の向上及び作業の効率化で、産業廃棄物の排出量を減らします。
5. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の各種協定等を遵守します。
6. 環境に配慮した製造活動を中心に、環境経営の継続的改善を行います。
7. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。
8. 全従業員に、環境経営方針を周知し、全社員参画による取り組みを目指します。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2019年9月31日

株式会社 フジックス  
代表取締役 諏訪 勝

4.中期環境経営目標

作成年月日: 2022年4月1日

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 (2021年度)	CO2 換算係数	年度目標			
					2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
原単位指標		売上高(万円)	47,310					
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	
			2,926	0.376	2,897	2,867	2838	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	
			0.319	2.32	0.316	0.313	0.309	
				kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
		LPG使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減		
4.420	3.00		4.376	4.331	4.287			
	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円			
	(CO2総量計) (kg-CO2)	362,624						
	kg-CO2/年							
CO2原単位 (kg-CO2/万円)		-		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減		
	7.665		7,588	7,512	7,435			
		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	
			198.00		196.02	194.04	192.06	
			kg/年		kg/年	kg/年	kg/年	
		産業廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	
657,266.30			650,693.64	644,120.97	637,548.31			
	kg/年		kg/年	kg/年	kg/年			
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減		
		1,706.00		1,688.94	1,671.88	1,654.82		
			m <sup>3</sup> /年		m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	
4	化学物質使用量の維持管理	化学物質使用量						
				維持管理を行う	維持管理を行う	維持管理を行う		
	kg/年							
5	作業効率の改善 客先不具合の削減	発生率						
		0.24		0.2	0.2	2.0		
		%		%以下	%以下	%以下		

※二酸化炭素排出係数は2022年東京電力実績の調整後排出係数0.376kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は当社の4月～3月の会計年度と同一期間を適用した。

5. 環境経営計画

2023年度

環境経営計画

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2023年4月～2024年3月	
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①生産設備の適正管理	総務 小島	(左記達成手段全て) →	
			②空調温度の適正化			
			③照明器具の見直し			
			④生産工程の待機時間			
			⑤前処理工程の合理化			
			⑥働き方改革での残業削減による削減			
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	①停車時のアイドリングストップの励行	営業 黒石	(左記達成手段全て) →
				②急加速・急停車の防止		
				③定期的にタイヤ空気圧のチェック		
				④冷房の控え目使用		
⑤車両以外の交通手段を使用						
⑥働き方改革での残業削減による削減						
軽油	目標から削除					
L P G	①前処理・乾燥炉のON・OFFの管理の徹底		製造 細田	(左記達成手段全て) →		
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	①実態の把握	総務 小島	(左記達成手段全て) →	
			②分別管理の周知徹底			
			③ミスコピーの削減			
			④ミスコピーの裏紙使用			
			⑤シュレッター排紙のリサイクル化			
2) 産業廃棄物排出量の削減	①廃棄物発生最小化の検討・推進	製造 細田	(左記達成手段全て) →			
	不良率の低減					
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める	総務 小島	(左記達成手段全て) →		
		②節水表示をする				
4	化学物質使用量の維持・管理	①適正維持の徹底	製造・営業 細田・黒石	(左記達成手段全て) →		
		②粉体塗装への変更提案				
5	作業効率の改善	①粉体塗装のメリット提案	製造・営業 細田・黒石	(左記達成手段全て) →		
		品質評価・サンプル作成				

## 6. 環境経営目標の実績

2023年度

### 環境経営目標の実績

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間(2023年4月~2024年3月)			
			2021年度		目標	実績	評価	
売上高(万円)						54,406		
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	原単価		基準値に対し 2 %削減	0		
			2,926 kg-CO2/万円	0.376	2,867 kg-CO2/万円	2,223 kg-CO2/万円	○	
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン原単価		基準値に対し 2 %削減			
			0.319 kg-CO2/万円	2.32	0.313 kg-CO2/万円	0.315 kg-CO2/万円	×	
			LPG原単価		基準値に対し 2 %削減			
		4,420 kg-CO2/万円	3.00	4,331 kg-CO2/万円	3,680 kg-CO2/万円	○		
		(CO2総量計) (kg-CO2)	362,624 kg-CO2/年		355,372 kg-CO2/年	338,273 kg-CO2/年	○	
	CO2原単位 (kg-CO2/万円)	- 7,665 kg-CO2/万円		基準値に対し 2 %削減 7,512 kg-CO2/万円以下	6,218 kg-CO2/万円	○		
	太陽光発電	発電量				84,561 kWh/年	☆	
		CO2削減効果		0.407		34,416 kg-CO2/年		
CO2削減効果原単位					0.633 kg-CO2/万円			
2	廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量					
		198 kg/年		194 kg/年	198 kg/年	×		
		2)産業廃棄物排出量	廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減			
			657,266 kg/年		644,121 kg/年	700,877 kg/年	×	
3	水使用量の削減	水道使用量			基準値に対し 2 %削減			
		1,706 m <sup>3</sup> /年		1672 m <sup>3</sup> /年	1677 m <sup>3</sup> /年	×		
4	化学物質使用量の維持・管理	化学物質使用量			基準値に対し %削減			
		kg/年		0 kg/年	10,198 kg/年	○		
5	作業効率の改善	客先不具合の削減						
		0.24% 9件/3,742件		0.2%以下	0.32 11件/3,430件	×		

※二酸化炭素排出係数は2022年東京電力実績の調整後排出係数0.376kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価

7.1 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7.2 環境経営計画の取組結果と評価及び、次年度の取組内容

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価	コメント及び次年度の 取組み内容	
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①生産設備の適正管理	総務 小島	・空調適正温度の表示 ・朝礼時のワンデー管理 (何を何時までどこまで) ・生産設備の適正管理	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。	
			②空調温度の適正化					
			③照明器具の見直し					
			④生産工程の待機時間					
			⑤前処理工程の合理化					
			⑥働き方改革での残業削減による削減					
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	①停車時のアイドリングストップの励行	営業 黒石	エコドライブ10のすすめを実践	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。
				②急加速・急停車の防止				
				③定期的にタイヤ空気圧のチェック				
				④冷房の控え目使用				
⑤車両以外の交通手段を使用								
⑥働き方改革での残業削減による削減								
L P G	前処理・乾燥炉のON・OFFの管理の徹底	製造 細田	朝礼時のワンデー管理	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。			
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	①実態の把握	総務 小島	シュレッター排紙のリサイクル実施 分別の徹底	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。	
			②分別管理の周知徹底					
			③ミスコピーの削減					
			④ミスコピーの裏紙使用					
⑤シュレッター排紙のリサイクル化								
2) 産業廃棄物排出量の削減	①廃棄物発生最小化の検討・推進	製造 細田	不良率の低減	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。			
	不良率の低減							
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める ②節水表示をする。	総務 小島	節水の周知を行った。 節水の表示を行った。	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。		
4	化学物質使用量の維持管理	①適正維持の徹底 ②粉体塗装への変更提案	製造・営業 細田・黒石	適正維持の徹底	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。		
5	作業効率の改善	①粉体塗装のメリット提案 ②品質評価・サンプル作成	製造・営業 細田・黒石	粉体塗装のメリット提案	-	今年度及び次年度は実績把握を行う。		

## 8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

2024年度

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
						2024年4月～2025年3月	
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	①生産設備の適正管理 ②空調温度の適正化 ③照明器具の見直し ④生産工程の待機時間	総務 小島	(左記達成手段全て) →	
			KWH	⑤前処理工程の合理化 ⑥働き方改革での残業削減による削減			
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン使用量	ガソリン	①停車時のアイドリングストップの励行 ②急加速・急停車の防止 ③定期的にタイヤ空気圧のチェック ④冷房の控え目使用 ⑤車両以外の交通手段を使用 ⑥働き方改革での残業削減による削減	営業 黒石	(左記達成手段全て) →
			L	LPG	①前処理・乾燥炉のON/OFFの管理の徹底		
		CO <sub>2</sub> 総量計 (kg-CO <sub>2</sub> )	(kg-CO <sub>2</sub> )			全部門 細田・黒石・小島	(左記達成手段全て) →
CO <sub>2</sub> 原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /万円)	(kg-CO <sub>2</sub> )				(左記達成手段全て) →		
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	Kg	①分別管理の周知徹底 ②ミスコピーの削減 ③ミスコピーの裏紙使用 ④シュレッター排紙のリサイクル化	総務 小島	(左記達成手段全て) →	
		2) 産業廃棄物排出量の削減	Kg	①産業廃棄物発生最小化の検討・推進 ②不良率の低減	製造 細田	(左記達成手段全て) →	
3	水使用量の削減	水使用量	m <sup>3</sup>	①節水の意識を高める ②節水表示をする	総務 小島	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質使用量の維持管理	化学物質使用量	Kg	①適正維持の徹底	製造・営業 細田・黒石	(左記達成手段全て) →	
				②粉体塗装への変更提案			
5	作業効率の改善	取組内容の検討	件以上	①取組内容の検討 ②取組内容に対応する実施事項の決定	製造・営業 細田・黒石	(左記達成手段全て) →	

## 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### I 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2023.12.11	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処	2023.12.11	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2023.12.11	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイク	2023.12.11	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2023.12.11	○
水質	水質汚濁防止法	2023.12.11	○
有害物質	PRTR法	2023.12.11	○
	毒物及び劇物取締法	2023.12.11	非該当
地球温暖化防止	フロン排出抑制法	2023.12.11	○
消防	消防法(危険物関連)	2023.12.11	○
労働安全	特定化学物質障害予防規則	2023.12.11	○
	有機溶剤中毒予防規則	2023.12.11	○
	労働安全衛生法	2023.12.11	○
公害	浄化槽法	2023.12.11	○

当社に係る環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を2022年12月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去4年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し・指示  
結果報告書

見直し実施日	2024年6月24日 ( <input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し )			
見直し対象期間	2023年4月1日～2024年3月31日			
出席者	諏訪、藤森、細田、黒石、小島(EA21事務局)		場所 本社 会議室	
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による) ③適用範囲、実施体制 ④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正／予防処置報告書による) ⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑥その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)			
代表者による評価	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価)			
	システムとしては有効に機能している。			
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況	
	二酸化炭素排出の削減	○	○	売上高アップが原単位低減に大きく寄与した。
	廃棄物排出量の削減	×	○	現状把握を実施。生産量の増加が未達の一因。一過性のもか次年度注視する。
	水使用量の削減	×	○	
化学物質使用量の維持管理	○	○	管理はされている。	
作業効率の改善	×	○	中小企業診断士による改善、現在進行中。	
代表者による見直し	【環境経営方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	現在の環境経営方針を維持する。			
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	現在の目標及び計画を維持する。			
	【実施体制】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	現在の実施体制を維持する。			
	【環境経営システム】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
現在の環境経営システムを維持する。				
【総括】(環境活動レポートに転記)				
コロナ明けの年度で、各数値が一過性のもか穴か次年度注視し、次の中期計画を立案する。				
注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。 ②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。 ③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。				